

株 主 各 位

アルプス電気株式会社

## 第75回定時株主総会の質疑応答要旨について

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成20年6月26日(木)、第75回定時株主総会を開催し、総会の中で、5名の株主様から6件のご質問・ご提言をいただき役員一同がご回答いたしましたので、その要旨をお知らせいたします。

敬 具

### 記

(質問要旨) 当社ホームページ上で研究開発費に170億円投資と記載されていますが、センサ事業へのどのくらい配分する予定ですか。

(回答要旨) 当社では、ここ数年、売上の4～5%程度を研究開発のために投資を行っております。GMRヘッド資産譲渡後の次のビジネスとしてセンサ事業に注力したいと考えております。この170億円という金額は、6つの事業部門全体での金額であり、センサ事業にはおよそ2割程度、約30億円です。

(質問要旨) BRICs と呼ばれる地域、特にインド、ロシア、ブラジルへの販売施策を教えてください。

(回答要旨) 当社はグローバルな企業活動を行っていきたいと考えており、BRICs 諸国も視野に入れて活動していますが、当社のお客様であるセットメーカーの動きは緒についたばかりですので、現状では、インド、ロシア、ブラジルとも、近隣の海外現法や駐在事務所等からアプローチを図っております。今後は、お客様の動向を注視し、販売拠点、営業事務所設立も考慮していきたいと思いますが、まずそれらの国を知るところから始め、拠点を構えるということについては慎重に考えていきたいと思っております。

(質問要旨) 今後の業績予想について、2009年3月期は原材料の高騰や景気後退により大変厳しい情勢という見方である一方、2010年3月期はできる限り業績を伸ばしたいというお話でしたが、どの分野の業績が回復すると見えていますか。

(回答要旨) 電気業界は新製品、新技術が次々に出てきて、5年先、10年先を見るのが大変困難なため、当社では3年の中期計画を基本に業績予想を行っております。当社の事業分野全てを伸ばしていきたいものの、特にセンサ事業の拡大と、電子化がさらに進む車載電装事業が業績回復への両輪となると考えております。

(質問要旨) 連結損益計算書にある特別損失の内容を教えてください。また、外資の投資家から、今回の総会にあたり何か意見や質問が出ていますか。

(回答要旨) GMRヘッド資産の売却で残った設備に対して減損会計が適用されており、これが特別損失の内訳の大半です。また、今総会に関して、外国人株主から意見や質問は提出されておられません。

(質問要旨) 自己株式の取得の経緯、目的について教えてください。

(回答要旨) 数年前の法改正を機に、将来に備え、様々な使い方があるだろうということで取得しました。現段階では具体的な利用は考えておりません。

(質問要旨) 当社の業績は他の大手部品メーカーに比べると見劣りしますが、同業他社を分析していますか。

(回答要旨) 最近の電子業界は堅調に推移をしており、その中でいくつかのセットメーカーは業績を上げておられ、またいくつかの電子部品メーカーも当社より大きな売上、利益を計上しているという状況はよく理解しております。当社は、選択と集中ということでGMRヘッドを始めとして、数種類の製品を終息させました。その売上累計額は2年間で約1,000億円に上ります。それを他のビジネスや新しいビジネスで埋めようと努力してまいりましたが、売上はマイナス分をほぼカバーできたもののビジネス立上げのための設備投資等が掛かる関係で、残念ながら利益については吸収できませんでした。今期はほぼ横ばい、来期には回復をしたいと考えております。また当社オリジナルのコンポーネント部品関係は確実に利益体質であります。今後の売上の伸び、利益の回復に期待していただきたいと思っております。

以 上